



こんにちは ひぐち英明

330号 2018年2月18日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：

運動と議会論戦で改悪方針の具体化をストップさせる

敬老乗車証・現行制度存続

2月16日から、京都市会予算議会が始まりました。初めに報告したいのが、敬老乗車証が2018年度も現行制度のまま継続される、つまり今回も改悪方針をストップさせることができた、ということでした。敬老乗車証を一回乗るたびに料金を払う制度に改悪しようという方針が出されたのが2013年10月。しかし、「敬老乗車証を守れ」「さらに充実にせよ」の運動が大きく広がった中で、改悪の具体化を5年連続でやめさせています。予算議会前の2月8日には、第12次の署名提出行動と市役所前集



市役所前集会

会が行われました。改悪方針そのものの撤回をさせるために、引き続き、力を合わせて行きましょう。

安全置き去りの「民泊」営業

「民泊」シンポジウム



市内で大問題になっている「民泊」で、先日火災が発生しました。私は、議会でも、火災に気付いたのも、通報したのも、近隣住民であること、を指摘。住民の安全を守れない「民泊」営業を許さないよう厳しく求めました。



民主府政の会左京連絡会事務所開き 福山和人弁護士があいさつ



あいさつする福山弁護士

京都府知事選挙に向けて、民主府政の会左京連絡会の事務所開きを行いました。府知事選挙への立候補を表明している福山和人弁護士もあいさつ。格差と貧困を拡大させた安倍政権の政治をそのまま持ち込んできた京都府政を変え、市民・府民の暮らしに寄り添う政治を、京都からつくりましょう。

「下鴨神社マニッシュ」建設で景観が悪くなった」とは...

京都市都市計画審議会で、景観を守る計画が議題となりました。私は、世界遺産下鴨神社の木の森にマニッシュが建設されたことや、世界遺産二条城のコーゾーンの緑地に京都市が駐車場をつつたことなどに対して、「反省が必要」と質しました。すると京都市は、下鴨神社の景観は良くなった、と驚くべき見解を表明。住民の批判の声を聞くことのない市長の政治姿勢が、ここでもあらわになりました。

写真トピックス

→洛北診療所平和企画「9条活かし安心して誇れる日本にする方法」



吉田神社前で
節分宣伝

ホッと・コム

長男（高校2年）がインフルエンザにかかりました。その日の夕方、長男が学校から帰った時に家にいたのは、長女（高校3年）だけ。ひどい咳をしていて明らかにしんどそうだったのでも、インフルエンザに違いない」と長女は思ったそうです。我が家では普段、女王様キャラで、自分は動かす人を動かすことが多い長女ですが、この時ばかりは、急いで妻のスマートフォンに電話。しかし勤務中の妻は電話に出られません。それでも繰り返し続けると20回。つながらないので、妻の職場に電話をして、長男の様子を伝えてくれました。長女も、いざという時には奮闘します。

さて、北陸地方を中心に豪雪が続いています。除雪の作業は自治体が地元の建設業者などと提携して行っていますが、手が足りていません。一人ひとりの職人さんに負担がかかり、満足に寝る時間も取れないまま作業をしている最中に、心筋梗塞で亡くなる方が出る、という痛ましい事態まで引き起こされています。これから、今のような緊急時に、地元の中業者が力を発揮しています。これらの地元中業者が元気になることで、地域経済が活性化します。アパノミクスの格差拡大で、中小業者の廃業が増えていますから、自治体のしっかりとした支援が求められています。